

4 世田谷区地域経済発展ビジョンの 推進に向けて

(1) 推進体制

「世田谷区地域経済発展ビジョン」の推進にあたっては、区及び（公財）世田谷区産業振興公社を中心に、産業団体や金融機関、大学等の研究機関等と連携しながら、さらには区内事業者との官民共創の観点を取り込みつつ、個別施策や具体的取組みの実行に取り組んでいきます。

なお、個別施策等の企画立案時においては、地域経済の状況把握や分析、産業団体等や区内事業者との意見交換や対話などを積極的に行い、地域のステークホルダーとともに、政策の推進に取り組んでいきます。

(2) 評価指標の設定と測定・評価

「世田谷区地域経済発展ビジョン」で掲げる「重点事業」については、別途「アクションプラン」において、目標値を設定し、進捗状況や実施状況をPDCAサイクルマネジメントに沿って評価・検証し、「世田谷区地域経済の持続可能な発展を目指す会議」に定期的に報告していきます。また、これらの評価・検証結果については、世田谷区議会への報告及び区ホームページ等での公表を行い、より適切かつ効果的な取組みにつなげていきます。

また、「重点事業」の評価・検証に加え、政策の方向性を示す各「目指す姿」の実現に向けた道筋や変化を別途「ロジックモデル」として整理するとともに、指標を設定し、測定・評価することで、産業分野や地域経済への影響・波及を捉え、政策全体の進捗状況について「見える化」していきます（「インパクト測定・マネジメント」）。

具体的には、変化や道筋を象徴的に示す事象や要素を抽出した上で指標を設定し、個々に測定・評価するとともに、ソーシャルインパクト指標³として全体を総合的に捉えた指数「持続可能な地域経済の充実度」について目標値を示し、取組みを進めていきます。

「持続可能な地域経済の充実度^{*}」

成果指標名	単位	現状値	中間目標値	最終目標値
		令和5年度	令和9年度	令和13年度
持続可能な地域経済の充実度 [*]	ポイント	100	130	135

^{*}区内産業の活性化やビジネス環境向上等に関連する複数の指標を総合的に捉え、指数化したもの。
「世田谷区基本計画」より引用。

3 事業や活動の結果として生じた社会的な変化や効果を測定する指標。

(3) 評価指標を踏まえた施策や指標の見直し

(2) における測定・評価結果を踏まえて、産業分野への寄与や地域への影響（ソーシャルインパクト）が低いと認められる取組みや事業については、事業の有効性や必要性等を改めて精査し、事業の停止や改善、手法や手段の再検討、または新たな施策への転換等を検討することで時代やニーズの変化に迅速に対応した施策展開を図っていきます。

なお、「重点事業」を含む個別施策については、社会経済環境や区内産業を取り巻く状況を的確に捉え、迅速かつ柔軟に効果を高める取組みに繋げていくことが重要であることから、「アクションプラン」にて整理し区ホームページで公表するとともに、進捗管理及び定期的に取り組み内容や手法等について見直しを図り、より効果的な施策展開につなげていきます。

同様に、「ロジックモデル」及び「ソーシャルインパクト指標」、「インパクト測定・マネジメント」の手法についても整理の上、区ホームページで公表するとともに、進捗管理及び定期的な見直しを図り、環境変化やソーシャルインパクトを意識した施策展開につなげていきます。

なお、今回構築した「ロジックモデル」及び「ソーシャルインパクト指標」、「インパクト測定・マネジメント」の手法は、持続可能な地域経済の構築に向けた取組状況や地域への波及の「見える化」に挑戦する新たな取組みであり、確立された手法によるものではありません。これらに基づきながら施策執行、政策運用を行いながら、定期的に検証と見直しを行い、中長期的に改善及び手法の確立を図っていきます。

（「ロジックモデル」及び「ソーシャルインパクト指標」、「ソーシャルインパクト測定・マネジメントの手法」についてはトークンエクスプレス（株）の協力により策定。）